

花きの県別生産出荷概況(9月見通し)

令和2年8月31日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

| 品目       | 県名  | 作型                    | 主要品種                               | 出荷期<br>期間<br>(ピーク)     | 作付面積<br>ha<br>(前年比) | 出荷見込み           |               | 5月のピーク(%) |    |    | 主産地                               | 作柄及び概況  |
|----------|-----|-----------------------|------------------------------------|------------------------|---------------------|-----------------|---------------|-----------|----|----|-----------------------------------|---|
|          |     |                       |                                    |                        |                     | 出荷総数            | 京浜地域向         | 上旬        | 中旬 | 下旬 |                                   |   |
|          |     |                       |                                    |                        |                     | 千本<br>(前年比)     | 千本<br>(前年比)   |           |    |    |                                   |   |
| バラ       | 群馬  | 施設<br>(周年)            | アヴァランチェ<br>サムライ08<br>他             | 周年<br>(5~11月)          | 11.8<br>(97%)       | 880<br>(98%)    | 640<br>(98%)  | 33        | 33 | 33 | 前橋市<br>富岡市<br>昭和村                 | 梅雨明け後の気温の上昇に伴い、到花日数が短くなりやや小花傾向が見られるが、生育は順調である。高温対策として、夜冷や遮光を行っている。出荷量は平年並みを見込む。   |
|          | 静岡  | 施設                    | サムライ<br>オール4ラブ<br>シンディ<br>ベイブ      | 周年<br>(10~12月<br>3~5月) | 43<br>(97%)         | 800<br>(95%)    | 650<br>(95%)  | 30        | 35 | 35 | JALみず<br>JA大井川<br>JA掛川市<br>JA遠州夢咲 | 長期の曇天等で出荷サイクルはづれている。品薄高相場が続いたため、例年と異なり出荷調整を行わず下位等階級(4、50cm)の出荷比率が高くなっている。9月は8月高温の影響で引き続き下位等階級の出荷量が増えるか。全体量は産地によりまちまちだが昨年並~やや減少の見込み。                                       |
| アルストロメリア | 北海道 | 周年                    | アイスクリーム<br>アバランジェ<br>アーロン<br>レモネード | 周年<br>(5・10月)          | 733<br>(100%)       | 4,949<br>(100%) |               | 30        | 30 | 40 | 岩見沢市<br>JAいわみざわ                   | 新株が20日頃より出荷予定。白系品種は潤沢に出荷される。今後は黄色系が増えてくる見込み。  |
|          | 青森  | 周年                    | エペレスト<br>ピンクパフェ<br>ヒト              | 周年<br>(5月~8月)          | 1.92<br>(100%)      | 1,083<br>(96%)  | 704<br>(97%)  | 30        | 35 | 35 | 藤崎町                               | 緊急事態宣言により需要が低迷し4.5月に摘芯作業を行ったため、盆前に出荷ピークとなった。ほ場の排水不良で一部品目は欠株しているものの、生育は概ね順調で彼岸前に数量増となる見込み。   |
| トルコギキョウ  | 北海道 | 促成~                   | ハピネスホワイト                           | 8~11月                  | 2,207<br>(102%)     | 3,530<br>(107%) |               | 34        | 33 | 33 | 由仁町<br>JAそらち南                     | 7月上旬までの日照不足により、7月中の出荷はかなり遅れていたが、それ以降は好天に恵まれ、8/17現在、生育は1週間ほど早くなっている。   |
|          |     |                       | モンロー                               | 8~11月                  |                     |                 | 34            | 33        | 33 |    |                                   |   |
|          |     |                       | モアナLP                              | 7~10月                  |                     |                 | 34            | 33        | 33 |    |                                   |   |
| マキアLP    |     |                       | 7~8月                               | 0                      |                     |                 | 0             | 0         |    |    |                                   |   |
| 青森       |     |                       | セブ<br>ホヤージュ<br>ロジャーナ               | 7~10月<br>(9月)          | 4.95<br>(98%)       | 895<br>(103%)   | 537<br>(103%) | 25        | 50 | 25 | つがる市<br>田舎館村<br>八戸                | 【津軽地区】通常定植の1回目の出荷は概ね終了。春先の低温により花芽が枯死し収量減。3週間~1か月後に2回目の出荷となるため、秋彼岸前に間に合う見込み。今後は葉先枯が懸念される。<br>【八戸地区】盆中に向けての出荷がピークとなっており、彼岸向けについては8月下旬から徐々に増え始めるが、生育が前進傾向のため需要期より前の出荷となる見込み。 |
| 熊本       | 施設  | ミヨシ系<br>サカタ系<br>八江系など | 周年                                 | 9.8<br>(98%)           | 345<br>(98%)        | 3<br>(98%)      |               | 30        | 40 | 30 | 熊本市<br>菊池<br>やつしろ<br>くま           | 夜温が上がらず、例年より10日ほど遅い生育となっている。ピークは9/10頃を見込む。冬春に向けては定植は8月頃から行われている。10月頃から出荷が始まる見込み。一部生育の遅れがみられるが、概ね順調である。  |

花きの県別生産出荷概況(9月見通し)

令和2年8月31日現在  
出典：花き流通情報連絡協議会資料

| 品目       |     | 販売における現状と今後の見通し   |  |
|----------|-----|---|--|
| バラ       | 現状  | 7月の日照不足から8月は高温となり、7月と比較すれば数量増加となったが、昨年比では少なく品薄単価高となった。中旬以降は、高温により引き合いは落ち着いた(大田)。東北・北関東主体の入荷。入荷数量昨年より少なく相場安定。スプレーも同様(FAJ)国産品は早めに夏休みを取る産地もあり、入荷量的には多くない印象であった、相場に関してはそれなりに引き合いがあった(第一花き)。7月の梅雨の影響もあり、前半は出荷がまとまらず、単価は例年よりよかった。上位等級は少ない(世田谷)。7月までの天候不順で入荷量が抑えられ例年より@10~20ほど高い単価での動きとなっているが急激な高温で買参人の購買意欲の低下が心配される(東日本板橋)。 |  |
|          | 見通し | 大田花き  | 8月高温の影響を受け、下位等級中心の入荷となる見込み。9月需要期へ向けて、国内休眠産地は出荷再開となり、輸入品もケニア産中心に増加傾向となる。  |
|          |     | FAJ   | 秋のブライダルシーズン突入もコロナの影響で予断許さず。出荷数量は平年並み程度を予定。                               |
|          |     | 第一花き  | 主だったブライダルの需要は薄いですが、敬老などの引き合いは強い、バラの品質も徐々に良くなることで引き合いも強まる。輸入品は不安定が続く      |
|          |     | 世田谷花き   | 前半は出荷量も少ないが、需要も落ち着いている為、上位等級以外は安値。後半の連休需要に期待。情勢により、不安もある。                |
|          |     | 東日本板橋花き   | 8月の高温で各産地上位等級が減少し、下位等級の入荷比率が増える。9月の彼岸、敬老の日に向けて引き合い強まる見込み。                |
| アルストロメリア | 現状  | 8月に入り、天気が回復して、各産地 数量は増加。お盆需要に向け数量は増え、お盆用・業務需要として引き合い強かった。下旬に向けて高冷地は増えるが、愛知は焼けもあり、数量減少した(大田)。長野・山形などより入荷。昨年並みの入荷数で販売価格も昨年並みと堅調な相場続く(FAJ)。全体的に少なく、引き合いは強かった(第一花き)。例年より入荷量多い。業務中心に動く(世田谷)。愛知・青森中心の入荷。昨年より少なめの入荷。業務中心の動き(東日本板橋)。  |  |
|          | 見通し | 大田花き  | 各産地、増加してくる。高冷地・暖地と新植分が増加し、白・黄色・ピンクの順番に数量纏まる見込み。引き続き業務需要中心の引き合いとなる。       |
|          |     | FAJ   | ほぼほぼ昨年と同じような出荷数量になる見込み。引き続き長野・山形主体。                                      |
|          |     | 第一花き  | 例年並みの出荷予想。   |
|          |     | 世田谷花き   | 徐々に増える。引き合い変わらず。   |
|          |     | 東日本板橋花き   | 愛知・青森中心の入荷。昨年並みの出荷予定。  |
| トルコギキョウ  | 現状  | 長梅雨の影響から、生育の遅れと生育不良があり、昨年より入荷数量は減少した。長野、山形、福島中心にお盆需要期直前から増加に転じたが、品薄から高値での取引となった(大田)。宮城・山形・北海道などより入荷。数量は昨年並みも販売好調で高値相場続く(FAJ)。徐々に入荷も増え、相場のだれもなく販売できた品目である。間際には関東市場が休市の事もあり品物寒けなく高値で推移した(第一花き)。北海道・福島・長野県などからの入荷。長梅雨の影響で遅れ気味(世田谷)。曇天が続く北海道・東北は2週間ほど遅れ、8月上旬は品薄高で推移。中旬から微増(東日本板橋)。  |  |
|          | 見通し | 大田花き  | 主産地は、長野、福島、秋田、岩手となり、中旬から各色数量が纏まってくる。                                     |
|          |     | FAJ   | ほぼほぼ昨年と同じような出荷数量になる見込み。引き続き長野・山形主体。                                      |
|          |     | 第一花き  | 高冷地中心で、下等級からの出荷要請中。9月の需要が強まるであろう。  |
|          |     | 世田谷花き   | 北海道・秋田・長野などからの入荷。ブライダル等の回復いかん。   |
|          |     | 東日本板橋花き   | 北海道産が纏まり、お彼岸に向け増えてくる見込み。   |
| りんどう     | 現状  | 秋田の盆向けの出荷は、1週目で概ね終了。岩手中心に順調な生育状況で推移。取引については、7月末より安定した出荷で推移したため高値は出ず、中値で推移。岩手はやや秋品種の出荷のスタートが早い傾向にあった(大田)。秋田・岩手中心の入荷。需要期にロットのまとまった入荷も8/12より入荷数量減少(FAJ)。早品種が若干前進、頭の花が咲いても次が咲いてこない状況。産地によっては白い物があり、品質面でも若干良くない物があった。相場は強保合いのまま続く(第一花き)。前進出荷で盆前に減少。下旬から品種増えるが、強くはない(世田谷)。  |  |
|          | 見通し | 大田花き  | 梅雨明けが遅く、それ程高温になってないため岩手中心にやや前進気味の開花状況となる。彼岸向けには等級によっては昨年と比べて品薄感が出る可能性あり。 |
|          |     | FAJ   | 引き続き東北産地主体の入荷に。彼岸用のロット、品質は今後の天候次第。                                       |
|          |     | 第一花き  | 各産地露地物は前進傾向で推移、9月に関しても前進している。ほしい時にはない状況となるであろう。                          |
|          |     | 世田谷花き   | 彼岸に向けて早めの動き。注文多い。  |
|          |     | 東日本板橋花き   |  |